

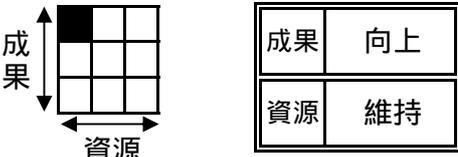
構成する施策

- 5 子育て支援制度の充実
- 6 豊富な情報提供と相談体制の確立
- 7 子どもの活動場所の整備

政策2 子どもや子育てへの支援

目標	子育てに関わる人のネットワークづくりを支援し、地域全体で次世代を育てていく環境を整えるため、より多様な保育サービスの提供を図っていきます。
-----------	---

基本方針	<p>公立・民間の保育所や幼稚園において、多様な保育ニーズに応えていきます。</p> <p>子育てに関わる人のネットワークづくりを支援するとともに、専門機関と連携し、市民からの子育て相談や子ども本人に対する相談の機能を高めていきます。</p> <p>子どもが楽しく遊べる公園や緑地の整備を進めるとともに、学校や幼稚園の施設を有効に活用するなど、子どもが安全にいきいきと活動できる場を整えていきます。</p>
-------------	---

考え方	政策の方向性	社会状況の変化
	<p>箕面市市民満足度アンケートにおいては、重要度は1位と最も高く、満足度が極めて低いため、市民ニーズ度が非常に高くなっている。子どもや子育てへの支援は、第四次箕面市総合計画のリーディングプランとして位置づけられており、重要な取り組みとして積極的な政策展開を行ってきたところである。今後も、子育てに夢と希望を感じる地域社会づくりをめざし、成果をさらに「向上」させるために、資源は一定の基準を「維持」するものとする。</p>	<p>・核家族化の進行により在宅子育てが孤立しがちである。</p> <p>・現行制度では対応できない保育ニーズが顕在化している。</p> <p>・子どもの安全をめぐる不安材料が増加している。</p> <p>・平成18年度より、認定子ども園制度が施行され、保育所、幼稚園の一元化が検討されている。</p> <p>・児童福祉法が改正され、市に児童相談窓口（相談及び通告の窓口）を置くことになった。</p>
		<p>これまでの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間認可保育所（1ヵ所）を新設した。 ・既設民間認可保育所の定員を60人から80人に増加した。 ・地域子育て支援センターを萱野と箕面に開設した。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の入所枠の確保といった保育環境の整備が不十分であり、主要な保育ニーズに対応する必要がある。 ・専門的な相談に応じることのできる相談体制だけでなく、地域における日常的な人間関係の中で相談できる教育コミュニティづくりの推進が必要である。 ・親子の居場所や保護者の交流といった、活動場所に対するニーズに対応する必要がある。

	成果指標名	基準値	目標値
成果指標	指標 子育てしやすいまちと思っている市民の割合	70.4 %	75.0 %
	根拠 多様な保育ニーズに応え、市民が子育てしやすいまちと感じることを目標とし、その割合を指標とする。子育て施策は最重要課題の一つであり、約5%増の75.0%を目標とする。		
	指標 子どもが参加できる場や機会の提供	209 回	230 回
根拠 子どもたちが自主的に参加し活動できる場や機会をつくるのが子ども・子育て支援における施策横断的課題である。市の主催や講演などによる子ども向け講座・イベント数を指標とし、現状の1割増である230回を目標とする。			